

2006年度 同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験 第2次審査

試験問題

法律科目試験  
(刑 法)

[注意]

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を開けてはいけない。
2. 問題紙の本文は、1枚である。試験開始後ただちに欠落や印刷の不鮮明な箇所がないか確認すること。欠落や印刷の不鮮明な箇所がある場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 解答用紙は、3枚1組である。
4. 各解答用紙の右上に受験番号の記入欄がある。組になっている2枚目以降の解答用紙の受験番号欄にも受験番号をペンで正確・明瞭に記入すること。
5. 解答は、黒色のペンまたは鉛筆で記入すること。
6. 試験開始後は、終了まで試験場から退出できない。
7. 試験はすべて監督者の指示によって行う。監督者の指示に従わない場合や不正行為を行ったときは、試験場から退出させる。
8. 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。

2006年度 同志社大学大学院  
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程  
入学試験問題 法律科目試験

(刑 法)

---

I Xは、YがAからAの夫殺害を引き受けると言って詐取した前渡し金 100万円のうち、事情を知りつつ、50万円を譲り受けた。

Xの罪責について、反対説を批判し、自説を展開せよ。

II Xは、金品窃取の目的で深夜 10 時頃、留守中のA方に侵入し、たんすの引き出しを開けたところ、帰宅したAに発見されたため、逃走した。Xは、Aが追いかけて来たため、逮捕を免れようとして所携の登山ナイフを示し、左右に振って威嚇したが、勇猛なAが全くひるまなかつたので、Aの腕に切り付けた。そこへたまたまXの友人Yが通りかかったので、Xは、逃走するためAに暴行を加えようとYに加勢を求めた。これを承諾したYは、相手が日頃から恨みを抱いていたAであったため、XのナイフでAの心臓を刺して殺害しようと企図し、Xからナイフを受け取り、まず、Aの腹部を刺して倒しAの抵抗力を弱めてから心臓を突き刺そうと思い、Aの腹部を刺してAを地面に倒した。その後、Xは、Yに向かって「もういいから、逃げようぜ」と言ったが、Yは、いきなり倒れているAの胸部めがけて同ナイフで刺し、Aは死亡した。ただ、鑑定の結果、Aの直接の死因は、YがAの腹部を刺したことによる内臓破裂と出血多量であることが明らかになった。

XとYの罪責を述べよ（特別法上の罪を除く）。